

1914
2010
8/15

府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)351・内線3740
直通06(6941)8079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／平井賢治 編集人／小山智美
(1部10円 組合員の講読料は組合費に含まれています。)

府職労自治研集会

- とき 8月29日(日)
午前10時～午後4時
- 場所 エル・おおさか
・南館ホール



原水爆禁止2010年世界大会

核兵器廃絶へ世界は動いている

世論と運動の力で 核なき世界を実現しよう

8月4日から6日まで、広島で行われた原水爆禁止2010年世界大会に、府職労から3名が参加しました。被爆65年を迎える今年の平和記念式典には、潘国連事務総長が出席の核保有大国の米英仏の代表がはじめて参加するなど、核兵器廃絶の機運がかつてなく高まるもとの開催となりました。

原水爆禁止世界大会広島閉会総会には内外から8千人が参加し、「被爆者と若いエネルギー」を結集し、「核兵器のない世界」の実現にむけて前進しましょう」とする「広島からよびかけ」を採択し閉会しました。

被爆者生きている間に実現を

四條畷保健所 大園 篤子

「We shall over come」

を世界中の人と歌いたくて今年も世界大会に参加してしまいました。

今だに差別されている韓国人被爆者。沖縄に暮らしていることに憤り、核廃絶と基地撤去の戦いを車の両輪として戦わねばと訴えられた胎内被爆者の女性。

被爆後米国に渡り、語り部として活動し、「核廃絶」という「Dream」と返されたが今は「当たり前」になってきているというカナダ在住の女性など、今回も沢山感銘を受けました。そして何よりも、「核廃絶実現に向け世界が動いている

こと」を実感しました。文科会では「被爆者の願いと援護・連帯」に参加しましたが、保健所職員として肩身が狭い思いでした。この1年で広島で5501人の長崎で3114人の被爆者が亡くなっています。潘基文国連事務総長は「被爆者が生きておられる間に核廃絶を実現しよう」と呼びかけました。出来ることから行動しよう。来年はあなたもぜひ参加してください。

子どもたちに伝えていきたい

砂川厚生福祉センター 堀野 英昭

私は、文科会では、岩国・呉基地調査行動に参加しました。基地拡大を阻止するために闘っている」ということで

ガイドさんから、「基地があることで、町は活性化していると思う人がいるか」と思いますが、そんなことは決してない。第二次世界大戦が終わり、65年が経ちます。それでも、世界では、戦争は絶えませんが、このことは、私たちが争いは無関係では決してないこと。私は、平和について学び、過去の歴史や、今問題に向き合い、さらなる



「被爆者をたずねて、出席しました。わたしたちのグルーブが、原爆場の木陰で、被爆者の手記を輪読しています。一人の男性が、話かけられてこられた。被爆の悲惨さの目撃者が向いて、セレニー化しているのか？原爆を落とされるには、そこへ至る理由があり、一般国民は、それを容認してしまっていたのだ。」世の中が、まちがった方向へ進もうとしたとき、権威や風潮に流されずに、正しい行動が取れるように、わたしたち、ひとりひとりが、歴史の事実から学び、現状を広い視野で把握する必要があると感じました。

文化祭 日時決定

- とき 2010年10月30日(土)
- 場所 グリーン会館

- 今年のテーマは「輝け文化・守ろう平和・広げよう」
- 参加者募集中です。近日中に案内ビラが職場に



歴史の事実から学び 広い視野で行動も

四條畷保健所 牟田 恵美子

原水爆禁止世界大会に参加させていただきました。文科会では、青年のひろば

起こっていることを知るだけでなく、未来の子どもにも伝えていきたいと思えます。そして、私には、1歳の娘がいますが、大きく成長をもちたいので、学ぶ機会をもちたいです。感謝しております。

遊歩道

オバマ大統領のブラハ演説以来、核兵器廃絶の機運がかつてなく高まるなか、広島平和式典には、米英仏の核保有国がはじめて参加、出席した潘国連事務総長は「核抑止力」を批判し、世界の安全は核兵器廃絶こそ実現と訴えました。秋葉市長は政府に対し、「核の傘」からの離脱、「核兵器禁止条約締結の音頭をとる」ことを求めました。

菅首相は「唯一の被爆国として核兵器のない世界にむけて先頭をたつて行動する道義的責任がある」と、核兵器廃絶と恒久平和実現に平和憲法を順守し非核三原則の堅持を誓う」と述べた数時間後の会見で、「核兵器をはじめ大量破壊兵器の拡散の現実もあり、核抑止力は引き続き必要」と発言、平和を願う人々から怒りが。

「核兵器のない世界」への流れに水をさす二枚舌発言は、政府に対する信頼をも損なうものです。「抑止力論」に立てば同じ論理で核兵器を保有し、核拡散の元凶にもなります。「核兵器のない世界」の実現には「核抑止力」から抜け出す以外にありません。日本政府は唯一の被爆国として、一刻も早く「核の傘」から離脱し、「核抑止力」の呪縛から解放されることを望みます。(K)

財政構造改革プランの「素案」を公表

人件費と府民施策切捨てで 新たに1,315億円削減

大阪府は、8月5日戦略本部会議を開催し、財政構造改革プランの「素案」を公表しました。10年4月段階での「今後の財政収支の見通し」では、要対応額が3年間で3140億円となっていました。8月段階では、経済成長率と長期金利の見直し、減債基金復元額の平準化などにより、下表のとおり各年600億円、1800億円と大きく縮小しています。このことは、「財政収支見通し」の信憑性を疑わせるものであり、箕面森町や阪神高速淀川左岸線など大型開発の中止凍結、減債基金復元額により、府民施策の切り捨てや職員の人件費カットを行わずに財政再建が可能なことを示しています。

プランの改革効果額

項目	2011年度	2012年度	2013年度	合計
要対応額	600	600	600	1800
構造改革	125	175	185	485
歳出改革(出資法人・公の施設含む)	75	110	110	295
歳入確保	50	65	75	190
収支不足 (予算編成における歳入歳出の取組みなど※1、人件費※2)	475	425	415	1315

「素案」では、収支不足分については、「予算編成における歳入歳出の取組み」と「人件費」で対応するとされています。知事は8月5日の囲み取材のなかで、「人件費と行政サービスの見直し分、ちよつと合わせ技で」「住民に負担が生じるのであれば、それに匹敵する職員サイドの負担を出さないと納得してもらえない」などと発言し、府民と職員を意図的に分断し、双方に犠牲を押し付けようとしています。

恒例のダイビングは、今年が15周年で7月28日から8月1日まで沖縄県慶良間諸島座間味島において16名の参加で開催され、静けさと時間のながれを独り占めにした時間を過ごしました。

府職労 スキューバ ダイビングツアー in 沖縄

静けさと流れる 時間はひとりじめ



1日目の天候は雨でも、あとの2日間は晴れ、やや風ありの天候でしたが、珊瑚の美しい海域、海中のトンネル探訪、漁礁を泳ぐカタククリ、ミノカサゴなど海の美しさを堪能し、楽しい時間と思いを詰込んで全員、元気に帰ってきました。

「非正規労働者の要求実現と組織化をめざして」学習会

日時 2010年9月2日(木)午後6時45分
場所 エル大阪南館102号室
講師 東京公務公共一般労働組合副委員長 小林雅之氏

児童福祉の現状 45

健康福祉支部相談所分会長 神夏磯 保

「変わりうる」というテーマでメニューを工夫していることです。「再犯防止指導」では、日本の少年非行の取り扱いについてわかりやすい図を使って説明しながら、少年の置かれた現状を理解させたり、非行少年の矯正施設に見学に行き、「この施設に入所しなくて済むように自身の生活と生活の場を考えるように」と諭したり、矯正施設に入所している少年が過去の生活を振り返り

「変わりうる」という視点で援助メニューを活用しながら重点的に取り組んでもいいです。というのも、非行少年の特徴として、突っ張ってはいないが本質的に成功体験に乏しく自己肯定感が弱いと思われるので、関係形成の目的も兼ねて自己肯定感を持てるような援助メニューに取り組んでいます。

実際この夏休みにも、高校進学を考えているが自信なさそうにしている少年と親を3組別々に高校見学に連れて行って少しでも進学のイメージを持つてもらったり、少年サポートセンター等の協力で少年6名を個別に当センターで2学期には夏休みの宿題を提出できるように学習支援に取り組んだりしています。

「再犯防止指導」と「変わりうる援助」

現状のシステムでは限界

子どもたちは、夏休みの真っ最中です。学校が子どもたちの教育だけでなく見守りの大きな役割を果たしています。夏休みの間は見守り機能が果たしにくくなります。児童相談所では、その現状を意識しながら対応しています。先日も行事を実施し親子合わせて28名が参加しましたが、工作・おやつ作り・ゲームを子どもや親と一緒に楽しみました。集中して取り組み楽しんでる子どもの姿を見て、スタッフ全員が親と一緒に喜ぶことができました。

私は、非行相談担当ですが、夏休みに生活が崩れやすいと言われる少年たちへの関わりを、数少ないメニューを苦心しながら実施しています。非行少年への関わりで私が重視していることは、「再犯防止指導」とも

話が変わりますが、大阪市西区での乳幼児虐待事件が連日マスコミに取り上げられています。深夜に近隣から通報があった時の初期対応に児童相談所として検証すべき課題があったことを踏まえて、夜間の常駐体制を敷くと報道されています。事件が起きる度に児童相談所の対応はどうだったのかと問われ、検証委員会が設置されています。きていますが、痛ましい